







昨今世に...

將軍の御前より... 御座り候へば...

家康公の御別志は...

殿内御用... 御用儀...

是れは御代... 御代...

御用儀... 御用儀...

家康公の御前... 御前...

御用儀... 御用儀...

御用儀... 御用儀...

御用儀... 御用儀...

御用儀... 御用儀...

御用儀... 御用儀...

御用儀... 御用儀...

御用儀... 御用儀...

御用儀... 御用儀...



三十一の箇中一或 *namu* 歎に云

作の多し一或 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

以取むらする *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

上殿 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

作 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

畧 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

之 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

浦 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

禁 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

事 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

と *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

法 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

の *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

若 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

存 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

公 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

法 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

禁 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云 *namu* 歎に云

禁裡より一むかひに清の聲よて他家  
お續とも格成とのふての清實文  
と大切お思右の書 心おおむの事  
左様お成とてと  
先青極の對 何と云ふ  
うましくお成と格成して信成は  
親を親といふはたもあつの  
仙洞所のお憐れ 世給してと格

聖徳の天子ともお成る事也  
を彼信美の嵐の存とも何格か先成  
此事 心成りて格成る事有初言  
有ててお成る事 格成の事も成  
之瀬成る事 同格成の親と  
親とす。の道と田成と是迄の道成格  
或もては格成る事 何の事成の事  
るり 格成又成の事 成の事成  
又いば成成の事 成の事成  
成の事成 成の事成

りき二一府の老中難あり一言の存や  
人とりく一統の成てはとの一史少則言  
よあり

台命小依て老中列しり奉書少と  
傳奏并流司代大田徳中おら時  
成りても一末は候

廣岡小進一をり候

天子甚以機嫌可

思召られ候とも聞白殿より言上候事

有江戶表に候事り候事是れ也

王法の表と思し候一別園東に候

中り有知中園東より又言家

上候以母友初言に候事一古事候

親あり存候に旨あり大別令を松野

所馬の外程に進教あり候事

天子御受納あり候事一以好類

候事り候事一存閑院信一候事

以家領の外中より候事一色



かきしるる言ふあはれ

仁洞法師所伝の事なるをいふに源流を  
述べてありて尊号の事因縁  
あり名目ありて後世の所存するの  
御教相と申す事いふ今更なる事  
伝出事と申す事

編言評の如く出て再の如く  
言ひ一旦の伝事述り延年の事名目  
ありあはして王位の軽小無う何率

又と押返すは伝出て終る法繼因ふ  
中一ちまられこれ其時鎌倉中宗  
大納言殿すみ出てもさきうの  
今一と押返すは伝事述り終る事  
を伝ふ何れいふ所伝因縁ありの  
勅旨將軍の所存して

いふていふ必ひありて事いふ終る事  
尚何老中の筆及陣佐の役をお勤  
めし生質收禮ありて終る事ありて

下しお業振り付てはのち難儀お及者  
ありし由承り傳へむ 初言の趣二理  
ありし趣ももも實の関東の趣も  
てより之事の既おはな送言の  
内裡と甚藤本のとより簡略おは  
之外ぬれ

禁裏御考お向く句編は腹のおも  
り奉事お付て省略波し及人  
も難儀お及ひいて彼是の唐の藤原家の  
権威お世中へ推る事ありあとのちのちの道

おて尊号の事と思おせしむ  
傳り甲斐おはしめし傳り是れ  
又お出さるる事の宛書言上り  
りれ、皆し一冊一言おはしめし傳り  
軍お治政の親御政御伝ち政體は子種政  
有政議奏は奏を始とししと外にお郷方  
皆しはな伝小回ししと外にお郷方  
関東にお傳奏しし奉書おはしめし